

ジェンダーの社会学

科目ナンバリング SOC-250

選択 2単位

久木元 真吾

1. 授業の概要(ねらい)

現代社会におけるジェンダーをめぐる状況について概説する。

※2020年度以前入学者対象の「家族とジェンダーの社会学」の名称を変更した科目である。「家族とジェンダーの社会学」を履修済みの学生は履修できない。

2. 授業の到達目標

現在の「性」のあり方を自明視せず、その多様性を把握し、これから「性」をめぐる社会や制度のあり方について展望を持つようになること。

3. 成績評価の方法および基準

授業中のアクションペーパーや諸課題(40%)、期末試験(60%)を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

プリント利用予定。

参考文献

適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

配布資料を再読み、自らの発見や考え、疑問点を整理しておく。

6. その他履修上の注意事項

毎回の授業でアクションペーパーの執筆・提出を求める。講義中に発言やディスカッションを求めることがある。履修上の注意点の詳細は初回に説明し、履修者はその注意点を了承したものとして授業を進める。

「家族の社会学」を履修済みであることが望ましい(必須ではない)。

将来的に久木元の社会学演習の履修を希望する者は、この科目を履修しておくことが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:ジェンダーとは
- 【第2回】 性的マイノリティ(1):基本知識
- 【第3回】 性的マイノリティ(2):日常生活
- 【第4回】 性的マイノリティ(3):同性のパートナーシップと同性婚
- 【第5回】 現代社会とジェンダー(1):家族・家事とジェンダー
- 【第6回】 現代社会とジェンダー(2):労働とジェンダー
- 【第7回】 現代社会とジェンダー(3):政治とジェンダー
- 【第8回】 現代社会とジェンダー(4):教育とジェンダー
- 【第9回】 性暴力(1):日本社会と性暴力
- 【第10回】 性暴力(2):性的同意
- 【第11回】 性暴力(3):性犯罪
- 【第12回】 現代社会とジェンダー(5):時事的なトピックの検討(1)
- 【第13回】 現代社会とジェンダー(6):時事的なトピックの検討(2)
- 【第14回】 ジェンダーの現在:当事者の話を聞く(オンライン)
- 【第15回】 まとめ